

□□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

平成 20 年  
メールマガジン 『日本人の 98% は知らないタイ株投資！』  
Home Page はこちら 「タイ株(アジア株)と海外投資」 <http://thaikabu.net/>  
Blog はこちら 「アジア株(タイ株)と海外投資」 <http://toatoajugem.jp/>

発行者 TOSHIYUKI ABE (タイ、日本在住)  
□□□□□□□□□□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

タイ株・タイ経済情報 第36号

今回初めて登録してくださった皆様ありがとうございます。

毎号読んでいただいている皆様。ありがとうございます。

タイ株ブログ運営しています、阿部です。

世界の多くのマーケットで株価下落が続いています。  
3月17日にはドル安が続き、米連邦準備理事会（FRB）による  
ベアール・スターンズ緊急融資を受けて  
外為市場で一気にドル売りが殺到しました。

FRBの公定歩合引き下げの報道にもかかわらず、ドル円レート  
はなんと12年7カ月ぶり95.77円まで急落しました。

タイバーツと円の関係ですが、現在100円=31バーツ台です。  
2月は100円=29バーツ台でしたので、これは大きいです。

上海市場、香港市場、台湾市場、インド SENSEX など大きく  
下げている今週のマーケットでしたが、  
タイの株式市場は大きく株価は動きませんでした。

タイ株式市場が底堅いのかもかもしれません。

※タイ国内ニュースへ続きます。

それでは第36号に入ります。どうぞ宜しくお願い致します。

(※ こちらのメールマガジンは転送可となっています。  
御友人や御知り合いでタイに関心ある方にどんどんお伝え下さい。)

何か新しいことを始めようと思われている友人の方、

タイへ旅行計画を立てられている友人の方など

そのような方にもブログとメールマガジンはもしかしたら役に立つかもしれません。

<タイ株通信メールマガジンのお知らせ>

グローバルリンクの戸松さんと一緒に「タイ株通信」と言うメールでのマガジンを開始します。

どんな感じが見てみたい方は無料です。お試されたい方はこちらへどうぞ。

無料お試し期間が長いのでお勧めです。

[https://www.gladvs.com/gla/free\\_trial/thai\\_otameshi/index.php](https://www.gladvs.com/gla/free_trial/thai_otameshi/index.php)

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

タイでは個人向けに所得税の減税プラン、保険加入の際の控除額増加、投資信託などにも控除額を増やすなど、政府もタイ国内の景気回復に相当な力を入れています。

サムック新政権が新政策を次々と発表していますが、

2006年9月のクーデターで政権を握った暫定政権もスラユット暫定首相を中心としてタクシン元首相の政策とは異なる政策を打ち出していました。

<タイのこれまで 2006年～>

前回の続きですが、

2006年12月当時、急速なバツ買いからバツの安定を望む当時のタイの財務大臣ブリヤトーン氏とタリサー・ワタナケートタイ中央銀行総裁の声明により短期的な外資の投機に関する規制が発表されました。

この規制は過度なバツ高を防ぎ、海外からバツの投機的な動きをさせないために導入が提案され、

アジア通貨危機といわれた 1997 年の状況を引き起こさないための措置として取られたものでした。

実施後は海外からの投資家の反発を招き、  
12月20日のタイ証券取引所では  
株価の大暴落を招くなどし、SET 総合指数も  
100ポイント以上下げる結果となりました。

なんと1日で8000億バーツが吹き飛んだ計算になりました。

当時はタイでビジネスマンとして勤務していたため、  
マーケットをずっと見ていることができませんでした。

株式投資の規制は即緩和になりましたが、タイの金融政策の信用度を  
大きく下げる結果となった事件でした。

その後2008年3月3日。  
タイの中央銀行ではこの外資投資規制を少しずつ段階的に規制条件の見直し、  
緩和をしていきましたが、完全撤廃を1年と2ヶ月ぶりに実施しました。

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

タイ株の上場企業詳細のコーナーを作りました。

●● バンチャーク石油(BCP) 036 です。 ○○

こちらはタイ・バンコク郊外で製油所を経営。  
国内でガソリンスタンドも経営している企業です。

バンチャーク石油(BCP)はPTT傘下の石油精製・販売会社です。  
扱う生產品ではLPG、ガソリン、ディーゼル、バイオ燃料など。  
1985年からPTTとの分離を果たしましたが  
1997年の経済危機により経営危機になります。  
財務状況が悪化し再建中の中でPTTからの支援が05年8月決定されました。

日産で12万トンの製油所を持つほかにタイ国内にガソリンスタンドを  
およそ530箇所を展開しています。  
ガソリンスタンドでは緑の葉っぱのイメージマークがBCPのキャラクターロゴです。

## 最近の株価を見ると

2007年当初からかなり上がっています。  
2007年5月頃までずっと8パーツ台で推移。  
PBRが相当低い銘柄として有名でした。  
2008年3月は14パーツ台を推移しています。  
(5年チャートで見るとずっと下げてきていて回復してきました。)

## □□ No3 タイ国内ニュース編です ■■

2008年3月5日6日と、サムック新政権は消費財の値上げ抑制のための政策を発表しています。  
3月4日の大型減税に続いてインフレ上昇へ向けてタイ国内の物価対策を導入するとしています。

### 「豚肉」

タイの商務省は、豚肉小売価格を98パーツに引き下げることを決定。  
ミンクワン商務相が提案していた一般消費財値下げ政策を実施しました。

### 「軽油」

他にも軽油価格を補助金拠出によって価格上昇を抑える政策を提案。  
こちらも軽油価格の高騰を抑えるのが目的です。

### 「地下鉄運賃」

地下鉄の運賃でもバンコクメトロ(BMCL)社に  
7月に予定する運賃引上げに対し延期を求めています。

### 「粉ミルク、シャンプーなど」

タイの商務省は、消費財大手各社が60品目の値下げ合意を発表。  
最長6カ月間の期間限定としています。  
これらの企業はサハ・パタナピブン・グループ(SPC)、  
食品大手ネスレ、ユニリーバなどです。

## □□ No4 追伸です ■■

いよいよメルマガ読者数が3000人に到達しました。

ありがとうございます。35号で無料相談キャンペーンを行なったところ、

たいへん嬉しいお便りもいただきました。

特に、I様、S様、ありがとうございました。



ブログで書いた、〇〇の答えですが

「外国人」は「住宅ローン」が「利用」できません。

そのため少ない資金で頭金だけ納めてと言う流れが難しいため、

レバレッジが効かないのが残念です。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

タイの企業を詳細に解説した

「タイ株完全マニュアル企業情報編4 1 社」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990500/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイ株取引をどうやって始めるかを解説した

「タイ株完全マニュアル口座開設改訂版」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4775990551/asianstocktha-22/ref=nosim>

タイで働いた経験やタイビジネスをまとめた

「タイビジネスは止められない」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4778200527/asianstocktha-22/ref=nosim>

そして

タイの企業をデータよりもその背景を解説した

「日本人が知らなかったタイ株」

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4798115460/asianstocktha-22/ref=nosim>

---

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

